

折に触れ 四字熟語

NO. 132 【紅灯緑酒】 こうとう りょくしゅ

< 意味 > 歓楽街・繁華街の華やかなことの形容。また、歓楽と飽食の享楽生活のたとえ。
「緑酒紅灯」ともいう。

語 釈 : 「紅灯」はあかいともしび。繁華街などの華やかな明かりをいう。「緑酒」は緑色に澄んだ酒。質の良い美酒をいう。

表 現 : 紅灯緑酒になじむ

用 例 : 大盃を満引し名媛^{めいえん}を提挈^{ていけい}して紅灯緑酒の間に流連せしことも多かるべし <正岡子規・瀬祭書屋俳話>

一 言 : 酒を飲む機会が多い季節になりました。先日、忘年会に出席するため渋谷の夜を歩きましたが、新しい高層ビルが次々と建ち並ぶ中で、歩道は相変わらず人、人、人で満ちあふれていました。まさに歓楽街という名にぴったりの光景でした。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」